

FUTABA

第105期(2019年3月期)
第2四半期決算説明会資料

新5カ年計画の進捗

取締役専務執行役員 大橋 二三夫

2018年11月22日
フタバ産業株式会社
(#7241)

・新5カ年計画の進捗

1-1 新5カ年計画の概要

1-2 2018年度方針

重点実施事項の進捗

2 新技術・新事業

3 連結売上高と営業利益率推移

1-1 新5カ年計画の概要

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
体制整備	計画の確実な実施	計画の確実な実施	計画達成の目途付け	計画達成

「よい品、より安く」を基本とした
新たな成長ステージ

基本姿勢

将来にわたり、成長性が期待できる分野へのリソースの重点投入と、収益性が期待できない分野の見直しを通じて、会社としての継続的成長を目指す

基本方針

- 「安全、品質、ものづくり」の基本の徹底
- 安定した収益確保のための構造改革と原価マネジメントの強化
- 拠点最適化と経営資源の効率的な配分
- コア技術の更なる進化と新規分野への活用
- 人材育成と組織力の強化

目指す姿

「挑戦する人の
集団」

「モノづくりで
社会に貢献」

「新しい価値を
世界へ提供」

1-2 2018年度方針



① 新5カ年計画の目標利益を確保できる収益構造改革

狙い	現在の生産品の改善
活動内容	<u>生産工場のオペレーションの改善</u>



実施事項	
1	不良廃却の低減
2	プレス加工の原価低減
3	生産実績集計のIT化
4	適切な設備更新

<<廃却不良金額 目標/実績>>
目標：2015年度⇒2020年度 9割削減
実績：～2018.9月時点 7割削減

・タブレット導入による集計のIT化 (進捗率100%)
 ■今後の取り組み
 ・生産性/品質 向上、ロス低減 のツール
 として更なる有効活用

・老朽化プレス更新継続による長時間
生産停止防止、冷間超ハイテン切替え対応

② 『品質・コスト・納期』目標を実現できる企画と節目管理の強化

狙い	今後の製品の利益確保
活動内容	プロジェクトの 企画/節目管理 の充実

実施事項	
1	プロジェクトにおける QCDの予実管理/進捗管理 徹底
2	開発・企画段階からの 原価低減活動
3	グローバルでの企画業務強化
4	プロジェクト管理の 仕組み整備と標準化

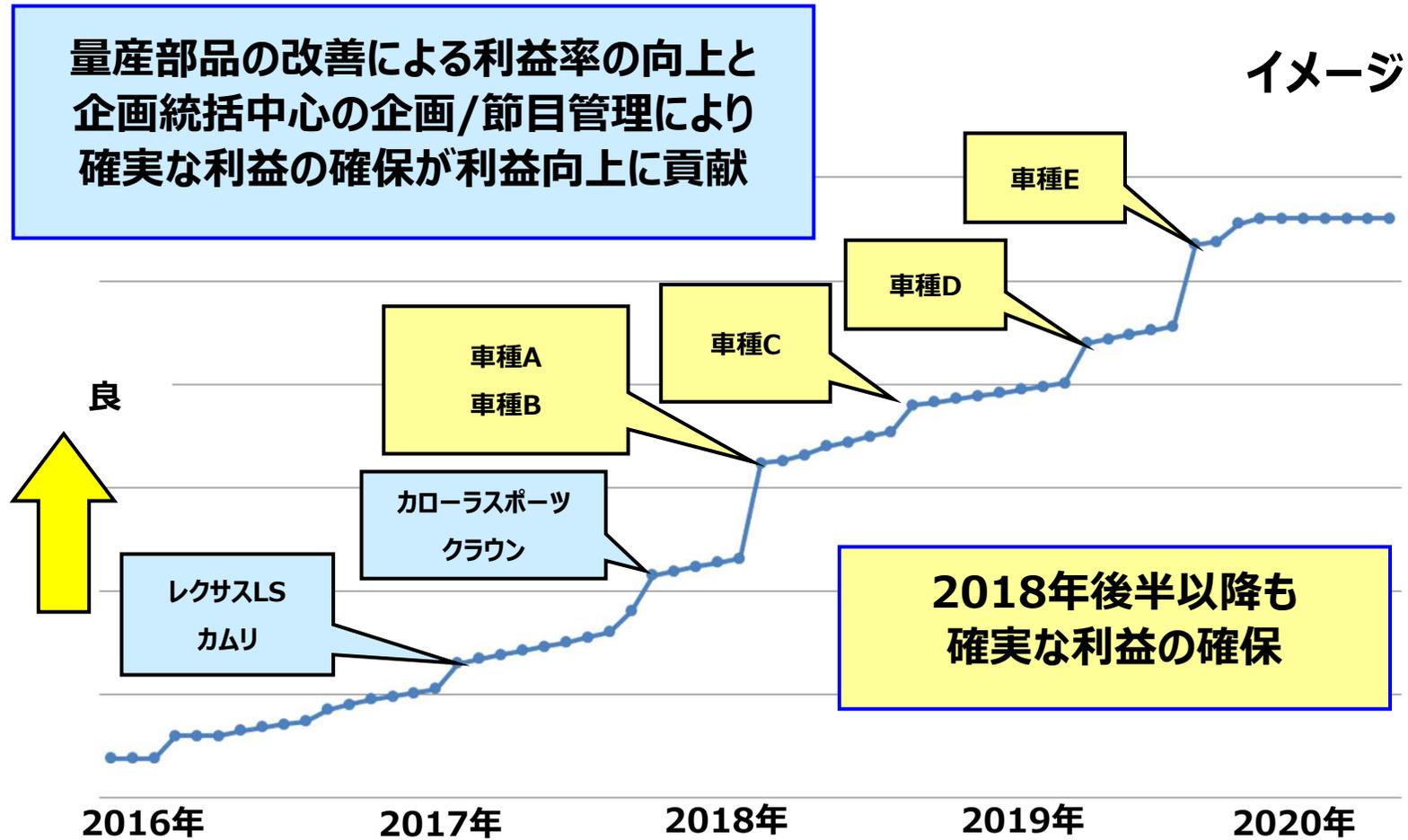
・大型プロジェクトの生産準備のやり切り (10月L/O)

○金型/設備 の原価低減に向けた取り組みの開始

・事前検討の充実 (CAE/シミュレーション 活用)

・現調化の検討推進 (中国拠点活用)

②-1 新規/切替プロジェクトによる利益改善効果



②-2 ホットスタンプライン導入工場及び進捗

- ・幸田工場:第1ラインは5月から生産中
第2ラインは10月から生産中



生産品目：フロントピラー、ダッシュフロア、センターピラー



②-2 ホットスタンプライン導入工場及び進捗

- ・FIO:第1ライン、第2ライン共に、
2018.11月から生産開始



FIO(カナダ)



生産品目：フロントピラー、ダッシュフロア、他



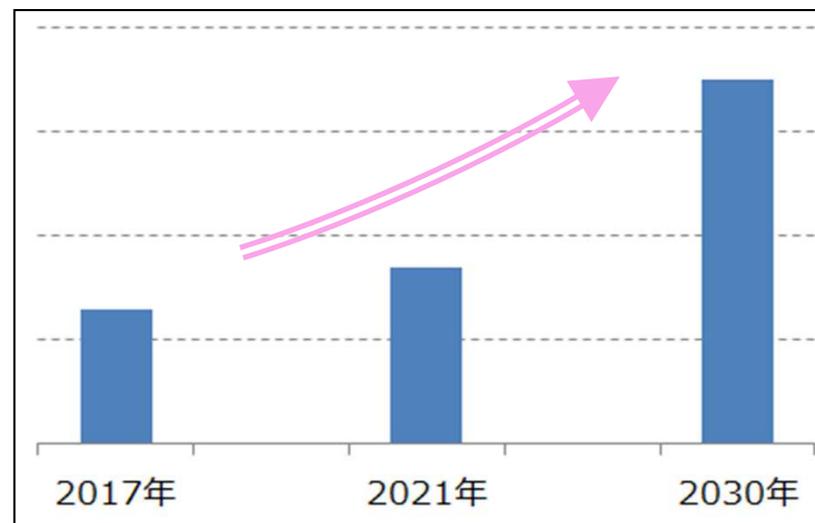
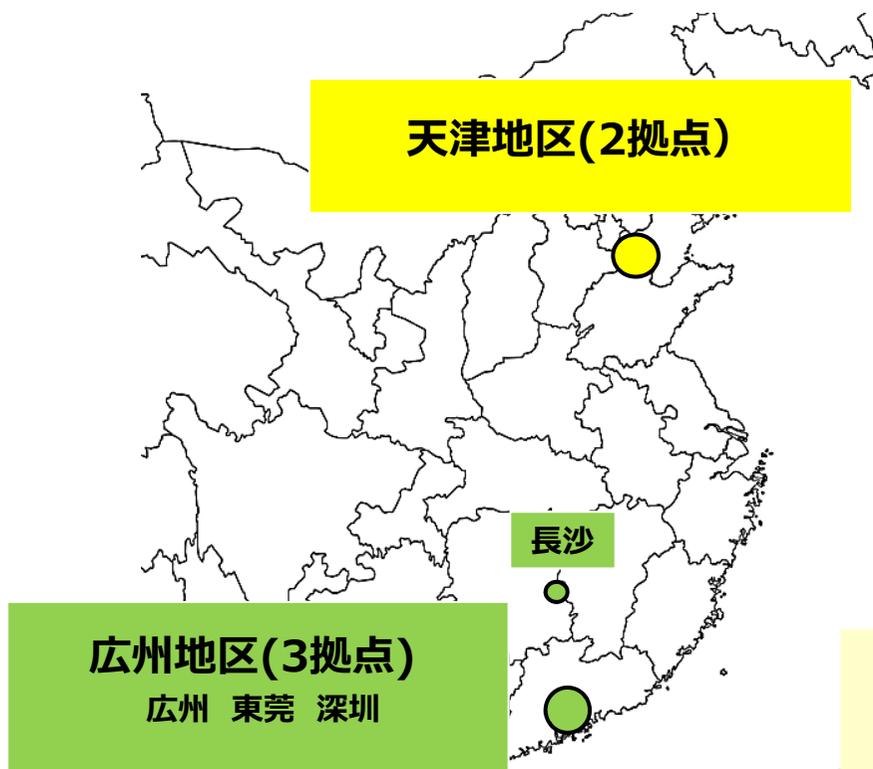
④ 環境変化とニーズに対応した生産拠点の最適化

狙い	地域ごとの課題の取り組みによる利益向上
活動内容	拠点の増強・シナジー効果」の見極めと推進

地域	子会社	実施事項
中国	北：天津地区 南：広州地区	トヨタ様の増産に対する体制構築開始
欧州	疑似統括組織	活動開始（2019/1~） ※責任者として執行役員をFCZ(チェコ)へ派遣
	FMUK・FIUK	FMUKへの1社化（2019/1~）
インド	FIG	量産開始(8月) FMIとのシナジー効果検討開始 ※FMI(FMI Automotive Components)

④-1 生産拠点の最適化

<中国>

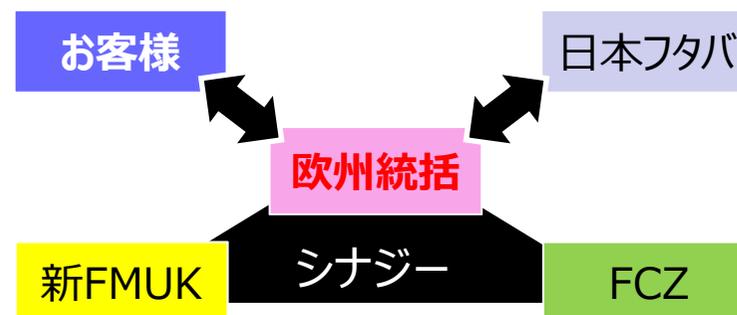
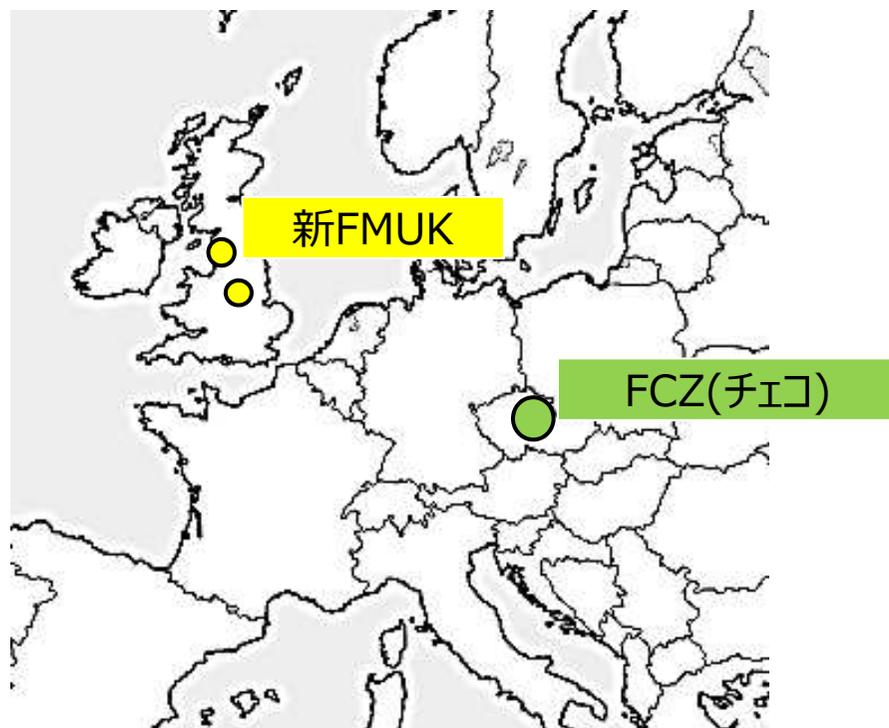


お客様生産台数推移

お客様とコミュニケーションを充実させ、
増産体制に合わせた適切な対応を検討

④-1 生産拠点の最適化

<欧州>



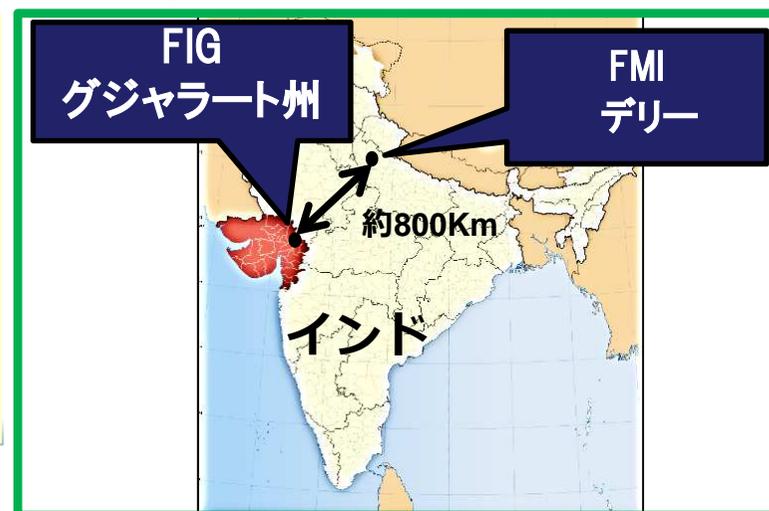
お客様の窓口 : コミュニケーションの充実
意思決定の迅速化 : 権限移譲
欧州拠点のシナジー : 受注活動、ものづくり

④- 1 生産拠点の進捗 ＜インド＞

第2拠点FIG(Futaba Industrial Gujarat)生産開始

＜概要＞

敷地面積	20,775m ²
従業員	182名 (2018年11月現在 派遣含む)
生産開始	2018年8月
ロケーション	スズキ(株)様グジャラート工場 サプライヤーパーク内
生産品	排気管/エキゾーストマニホールド



・工場外観



・排気管生産ライン

※FMI
(FMI Automotive
Components)
2008.8月生産開始

⑥ 業務品質の向上(TQM活動)といきいきとした職場の構築

狙い	各業務の品質向上 ⇒ 会社としての経営品質向上
活動内容	<p>PDCA・SDCA サイクルを 各職場で回せる仕組みの構築</p>

※SDCA : Standardize(標準化)→Do→Check→Action



プロジェクト	対象	活動内容
定例業務改善	管理部門	日常業務の棚卸 PDCA・SDCA サイクルを 各職場で回せる仕組みの構築 PDCAで改善、SDCAで維持 ⇒上記観点での 業務見直し (ムダ排除)
プロジェクト業務改善	生産準備 に関わる部門	開発～量産 全体プロセスの整理 ⇒ 各工程での 課題の潰し込み

マネージャー層への考え方の浸透を目標に活動推進中

2 新技術・新事業

・フタバの電動化対応方針

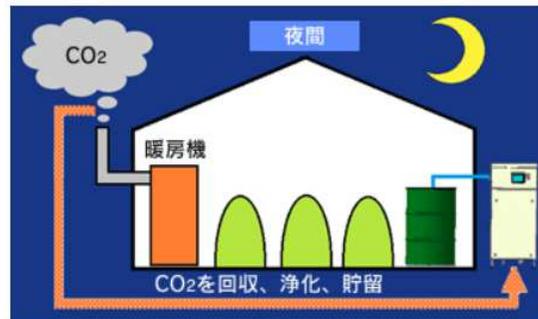
- **2040年目線**で規制強化や電動化に向けた**開発ロードマップの見直し**を実施
- パワートレーン系部品は、CO₂削減、ゼロエミッションに貢献する**排気系商品の開発強化**、半導体部品の**熱マネジメント部品**
- ボデー系部品は**電動化機能部品の統合・一体化**による付加価値の向上、**電池保護構造の提案**
- 開発スピード強化の為、**専門企業や大学との協業を検討**

上記の対応方針により開発ロードマップの深堀りと具現化を目指す

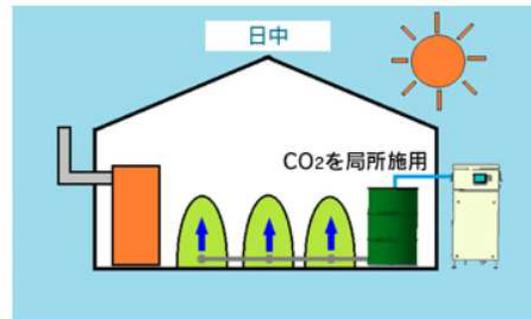
2 新技術・新事業

・農業ハウス栽培600坪用CO₂貯留・供給装置発売

昨年発売開始した900坪用(185万円)に追加して
2018年7月から600坪用(99万円)の追加販売を開始



夜間：暖房機の排ガスを浄化して貯留



日中：貯留したCO₂を植物に供給



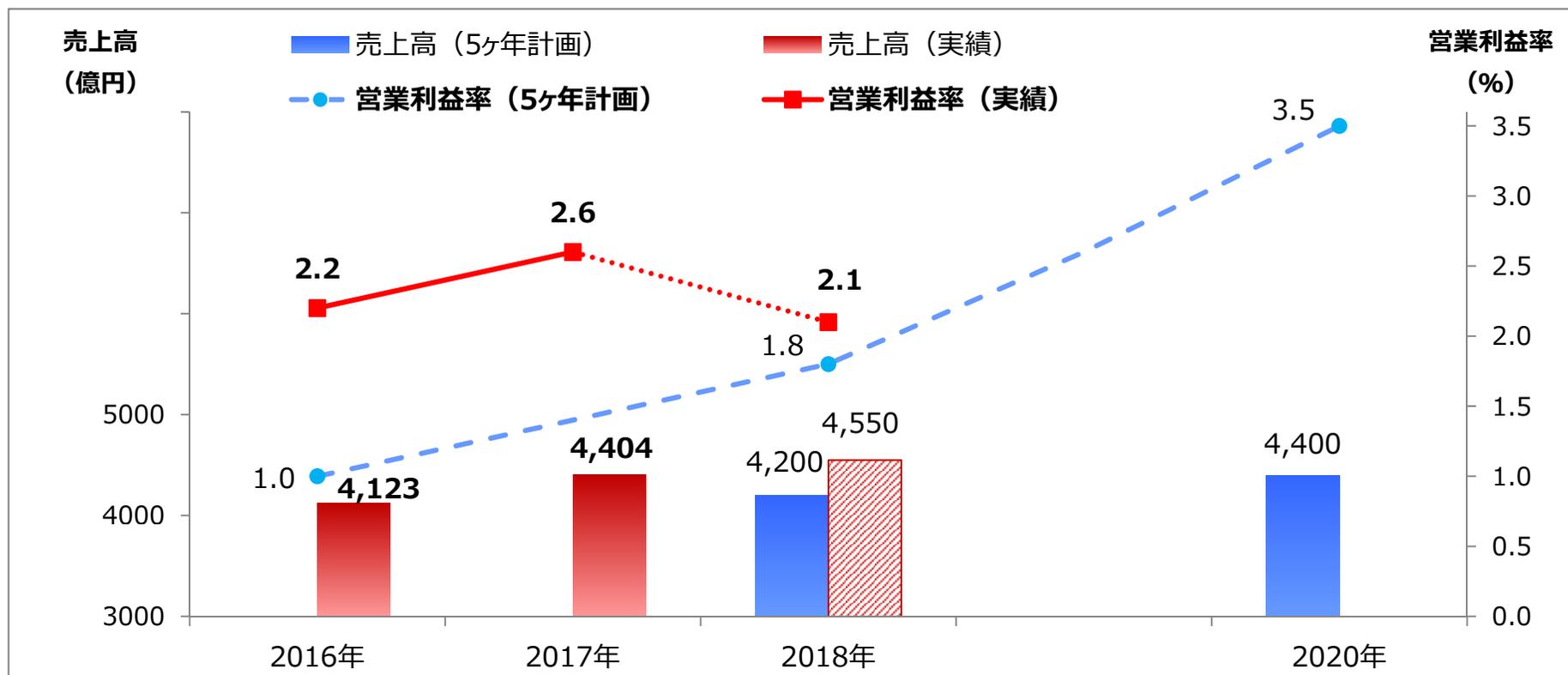
新製品（600坪用）

制御ユニット(左) 吸着タンクユニット(右)

ハウスの面積に合わせた選択肢が増え、600坪以下のハウス用に最適なサイズと好評を得ている。継続して受注活動を推進中

導入していただいたお客様には「作物の収穫量が増えた」など、大変評判が良い

3 連結売上高と営業利益率推移



2018年は2020年目標に対して、先行投資の年
2019年以降で利益目標を確実なものとする

FUTABA

フタバ産業株式会社

<http://www.futabasangyo.com/>